

他会場での主なご質問・ご意見に対する回答内容（Q & A）

番号	会場	内容	Q（ご質問・ご意見）	A（市回答）
1	7/14望月駒の里ふれあいセンター	会員登録	現在、主に自動車利用であるが、万が一利用することを想定したら今のうちから登録しておく必要があるのか。後から登録することはできるのか。	登録は随時受け付けるため後からの登録は可能であるが、利用されることが想定されるのであれば、現時点から登録していただいた方が良い。
2			利用登録の方法について、市役所支所窓口への提出、郵送とあるが、高齢者に配慮した方法を検討してほしい。	ご意見として承る。
3	7/19野沢会館		事前登録期限以降の会員登録は、申込書を提出したらすぐに使えるのか。	事前登録の締め切り後も、10日前後かかるため早めに登録していただきたい。 会員証が届いたらご予約可能となる。
4			家族やグループでの利用も想定されるが、全員の名前を登録するのか。それとも代表者のみでよいのか。 また、75歳以上の方が登録していない場合は、自宅前まで来てもらえないのか。	原則は、会員登録をお願いしたい。ただし、会員と同じ乗車場所・目的地で同乗する場合に限り、会員登録していない方も利用できる。自宅前での乗車は乗車場所の登録をするため、該当となる方の会員登録が必要となる。
5	7/21中込会館		普段は利用しないが、ケガなどで急に必要になった場合など、すぐに使えるようにできないか。	コールセンターで、システム上に地点登録するなどの作業を行うため、登録にはある程度の時間が必要である。そのため、事前に登録いただくようお願いしたい。
6	7/19野沢会館 7/22佐久市役所		最寄りの停留所がどこか知りたい。	広報8月号別冊に、すべての停留所名が記載された停留所MAPのページがあるのでご覧いただきたい。
7	7/22佐久市役所		佐久市内の別荘にいる人は会員登録できるのか。	住所または居所（住んでいるところ）が佐久市にあれば、会員登録できる。
8			障がい者とは、障がい者手帳所持者のみか、それとも、松葉杖を使う方や目が悪い方も対象となるか。	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方に限る。 それ以外の方については今後検討する。
9	7/26佐久平交流センター		会員登録に年齢制限はあるのか。小学生も登録できるのか。	年齢制限はない。小学生でも登録可能である。
10	7/12臼田支所	予約	毎日利用する場合は、その都度予約する必要があるのか。まとめて予約が可能なのか。	利用する度に予約をお願いしたい。現状では、乗車3日前から予約可能としているので3日分は可能である。例えば、1ヶ月まとめて予約すると、他の方が利用できない可能性が出てきてしまう。まとめて予約できる期間に関しては、今回の実証運行で検証していく。
11			通院等で週3・4回利用する方で、電話ができない方がいる。折角事前登録の制度があるので、その時点で配慮していただけないものか。これまでの市内循環バスよりも使い勝手が悪くなってしまう方もいるのではないか。	施設への通いということであれば、施設の方にも予約のお手伝いをしていただきたい。今後は、ろう者にも対応できるようネット予約を見据えて実証運行を考えている。具体例があれば、個別に検討をさせていただきたい。
12	7/16交流文化館浅科		土日に予約の電話はできないのか。予約の受付は何時までか。	土日は予約の受付はできない。平日の午前8時～午後4時までとなる。
13	7/19野沢会館 7/26佐久平交流センター		帰りの予約は時間が読めないが、どのようにしたらよいか。	行きの予約と同時に、見込の時間で予約することも可能である。その場合、帰りの時間が変わるようであれば乗車予定時間の60分前には変更連絡をお願いしたい。 また、乗車希望時間の60分前まで予約できるので、帰りの予約に関しては、乗車希望時間が決定してからの予約もできる。
14	7/26佐久平交流センター		ほかに予約が入ってなく車両が空いていれば、すぐに乗れるのか。その際の連絡方法はどのようになるのか。	乗車希望日時の60分前予約にはなるが、予約時に乗車できる時間をお伝えする。
15			コールセンターは、携帯電話から連絡できるのか。	携帯電話からでも連絡可能である。
16			固定電話や携帯電話がなく、望月の有線放送しかないという場合は、予約できるのか。	有線放送の電話には対応していない。

番号	会場	内容	Q（ご質問・ご意見）	A（市回答）
17	7/12臼田支所 7/22佐久市役所	利用方法	市民以外で、例えば子や孫と一緒に乗れるか。また運賃はどのくらいかかるのか。	利用できるのは、原則として市内に住所または居所がある方で、会員登録がお済みの方としているが、 <u>会員と同じ乗車場所・目的地で同乗する場合は、会員登録せずに利用できる</u> 。そのため、会員登録者を含めて何人で乗車するかをご予約いただく。運賃は、子ども(小学生)であれば1乗車100円で利用できる。
18	7/16交流文化館浅科	利用方法	運行状況によって希望する時間に乗れないということは、例えば10時に病院に行きたいときは間に合うのか、遅れる場合があれば心配である。	コールセンターに着きたい時間を伝えていただくようお願いしたい。予約状況によって時間を合わせていただく場合も出てくるため、予約時にコールセンターにご確認いただきたい。予約は利用希望日時の3日前からできるため、予定が決まっている場合は早めの予約をお願いしたい。
19		利用方法	予約時間に乗れない（運行できない）場合、折返しの連絡がくるのか。	今までと異なり、予約時に乗れるかどうか確定するため、基本的には折返しの連絡はない。また、当日の道路状況などで運行が大幅に遅れる場合は、登録いただいた電話番号へご連絡する。
20	7/19野沢会館	利用方法	病院に行き、ついでに市役所に行ったり買い物に行ったり、薬局に行ったり、またそこから帰るということではできるのか	1台で1日でおひとりですべて回るということは、運行状況にもよるが現実的に厳しい。ある程度同じ場所でまとめて用事を済ませることを検討していただきたい。
21		利用方法	望月・臼田エリア以外の地域は自宅から乗ることができないのか。	令和3年10月から、実証的に地域を限定して「自宅前からの乗車」を実施する。実証運行の結果を踏まえて令和4年4月以降、同じサービスを全域に拡大していくことを予定している。
22		利用方法	買い物の間待ってもらったり、薬局に寄ってもらったりということではできないか。	デマンド交通さくっととは、あくまでも乗合による公共交通であるため、次に乗りたい人もいる。タクシーのように使えるものではないことをご理解いただきたい。
23		利用方法	市内循環バスから、車両が小型化することからも、停留所の見直しをお願いしたい。	今後は、病院などに停留所の増設を検討しているが、区としての要望があれば地域の停留所の見直しも検討したい。
24	7/21中込会館	利用方法	免許返納時にいただいた共通回数券をデマンドでも使えるようにしていただきたい。	免許返納特典としてお渡ししている共通回数券は、現在のデマンド交通でもご利用いただける。また、今後も同様にご利用いただける。
25	7/12臼田支所	運行方法	趣味などで集まる場所として例えば野沢会館があるので、乗継場所は野沢会館にしてもらうことも考えられるのでないか。野沢会館に通っている方は多い。また、400円払わなくても乗継ぎができることなどを検討して頂けたらと思う。	10月からの運行形態では、野沢会館に行く場合は、佐久総合病院での乗継ぎになるので、400円になる。今までのエリアの考え方にに基づき設定したので、佐久総合病院が乗継ぎ拠点となっている。しかし、実証運行の中で効率性を検証し、来年にはエリアを見直すことを検討している。ご利用いただく中でアンケートを実施する予定もあるので、ご意見をいただきたい。
26	7/14望月駒の里ふれあいセンター		望月の始発点はどこになるのか。	今までの路線型と異なり、予約に応じて運行するため、最初に予約があった場所が始発点となる。
27			望月から佐久平駅までの説明はあったが、浅間病院まで行くことはできないのか。	浅間病院も行くことが可能である。 現在市内循環バス（北循環線）が運行している停留所であればどこでも乗降できるようになる。
28			高齢者にとっては、乗継ぎの行為が大変であるため、今後はできるだけ乗継ぎの必要がない方法を考えていただきたい。	ご意見として承る。
29			乗継ぎ時に必要な待ち時間はどれくらいか。	コールセンターでコンピューターが自動で配車（AI配車）するので車両の運行状況や、道路の混雑状況等にもよるが、待たずに乗り継ぐことができる場合もある。待つとしても5分から10分程度を想定している。
30			中仙道線の廃止に伴う代替は、現在高校生が利用しているものとルートなど違うのか。	現在のルートと同様で、さらに岩村田から佐久医療センターまで延伸する予定である。
31			行き先が停留所ということなので、目的地とされるポイントを増やすことが必要であると思う。10月からの運行で増やす予定はあるのか。	10月時点では考えていない。必要性に応じて実証運行の中で検討していきたいと考えている。
32			（臼田・望月）75歳以上の場合、自宅まで迎えに来てもらえるとのことだが、帰りも自宅まで来てくれるのか。	帰りもご自宅まで乗車できる。

番号	会場	内容	Q（ご質問・ご意見）	A（市回答）
33	7/16交流文化館浅科	運行方法	コールセンターのAI配車システムは、複数の予約が入った場合、全員を1台で乗せられるのか、それとも時間制約などを設けてもう1台出すようなものか。	今までは予約を締め切った後に運行ルートを作成しなるべく少ない台数で全員を輸送していたが、10月以降は、予約時に時間（運行）を確定させる方式となるため、必ずしも1台で全員を同時に輸送できるものではない。 予約時に5分から10分程度の時間の幅を設け、その中で移動できる範囲で乗り合わせできる仕組みである。AI配車といっているが、乗車場所や予約状況によっては、自分の希望の時間に乗れない場合も出てくる仕様になっている。
34			利用者からすると、乗継ぎはタクシー業者に配慮した仕組みだと感じる。 400円かかるというのなら、乗継ぎせず直接行く運行に対して運賃400円とするべきではないか。乗継ぎの必要性がわからない。	限られた台数で市内全域を運行しなければならず、長距離の運行については非効率となってしまう。当然に、一人の利用者にとっては乗継ぎがないほうが効率的ではあるが、多くの利用者のニーズに応えなければならないという点では、乗継ぎがどうしても必要となる。
35	7/19野沢会館		乗継が2回の場合は本当にうまくいくのか。	14台の車両をシステムの指示に従いスムーズに乗り継げるよう運行する予定である。 実際の運行を見ながら、来年度以降の見直しをしていく予定である。
36	7/21中込会館		エリアが細かく複雑だが、エリアが変われば運賃が変わることか。	現在は、循環バスエリア内までは400円としていたが、今後は一律で1乗車200円とし、乗継ぎが必要になった場合に200円加算される仕組みとなる。
37			行先は指定停留所のみとなっているが、市内循環バスで利用している停留所のことか。	現在のデマンド交通さくつとの停留所に加えて、市内循環バス及び佐久上田線の停留所も使えるようになる。
38	7/22佐久市役所		利用できない場合がありますとなっているが、それは定員によるものか、それとも別の理由によるものか。	限られた台数で運行するため、同じ時間に別のルートを運行する予約が先に入っている場合には、その時間には利用できない。コールセンターから、希望に近い時間で利用可能な時間をご案内する。そのような状況があるかどうか把握するための実証運行と考えている。
39			乗継ぎは予約の際にコールセンターからお知らせいただけるのか。	予約の際に、乗継ぎが必要な場合、乗継ぎ場所をコールセンターからご案内する。
40	7/22佐久市役所 7/26佐久平交流センター		自宅前に車が来るのは、臼田・望月のみということだが、ほかのエリアでもできるよう真剣に検討していただきたい。	<u>ご自宅前での乗降については臼田・望月地区において令和3年10月から実証的に開始する。実証運行の中で問題ないことがわかれば令和4年4月から市内全域でできるようにしたい。</u> なお、ご自宅前での乗降については、75歳以上、障がい者等、妊産婦、運転免許証自主返納者のいずれかに該当する方のみとする。
41	7/26佐久平交流センター		降りたい場所、目的地に停留所がない場合はどうなるか。細かく停留所を設定してもらえないか。	例えば病院など目的地としての需要が想定される場所には、実証運行の検証の上で増設を検討している。
42	7/26佐久平交流センター		令和4年4月から、市内全域で75歳以上が自宅前までの移動が可能になるというのは確定か。	確定ではない。実証運行を通じて確認及び検証をしていく。令和4年4月以降の運行については改めて2月以降に説明会等を開催する予定である。
43	7/12臼田支所 7/14望月駒の里ふれあいセンター	運行時間	これまで1日5便の運行だったが、今後は何便動くようになるのか。	午前8時から正午まで、午後1時から午後5時までの間、何便ということではなく予約の状況によって運行することとなる。
44	7/16交流文化館浅科 7/22佐久市役所		デマンド交通さくつとは、なぜ土日祝日は運行しないのか。また、今後、土曜日の運行を検討する予定はないのか。	デマンド交通さくつとは、元々土日祝日も運行していないため、現在のルールを引継ぐ形で運行していく（望月・臼田地域は現在土曜日の運行をしているが、利用者が少ないため10月から平日運行になる。）。 市内循環バスについても、運行当初は土日運行をしていたが、利用者が少ないことから、令和元年度より土日便は廃止している。現時点では運行の予定は考えていないが、今後のアンケート結果等により検討していきたい。
45	7/19野沢会館		午前8時から正午、午後1時から午後5時というのは、乗車できる時間ということか。	乗車ではなく運行する時間ということで考えている。従って、午後5時から乗るということとはできない。

番号	会場	内容	Q（ご質問・ご意見）	A（市回答）
46	7/14望月駒の里ふれあいセンター 7/19野沢会館	運行時間	正午から午後1時までの間も運行してもらえないか。 この表記だと、午後1時着の予約はできないということか。	午後1時着の予約はできないこととなる。タクシー事業者に委託する中で、現状だと午前8時～午後5時までの連続運行はできない。今後予定しているエリアの見直しの中で、運行時間の改善も検討していきたい。
47	7/22佐久市役所 7/26佐久平交流センター		午後5時に乗車することはできないか。	午後5時までという表記は運行時間である。午後5時までに降りるということでご理解いただきたい。
48	7/26佐久平交流センター		循環バスのように午後5時以降に野沢から佐久平までの移動はできなくなるのか。	午後5時以降は、会員登録、事前予約なしで利用できる定時定路線を佐久平と臼田の間に新たに運行するため、そちらをご利用いただきたい。
49	7/12臼田支所 7/14望月駒の里ふれあいセンター 7/16交流文化館浅科 7/22佐久市役所	車両	ワゴン車は何人乗りのどのような車を使用するのか。	臼田・望月地区では、トヨタの7人乗り車「ノア」を用いる予定である。実際には、新型コロナ対策を踏まえ、間隔を空けて乗車していただくことになるので、同時に4人まで乗車可能である。 また、ほかのエリアでは、10人乗り「ハイエース」を導入する予定である。実際には、同時に6人まで乗車可能である。
50	7/14望月駒の里ふれあいセンター		最低限の荷物を載せるスペースを確保できないか。	基本的に、荷物用スペースの検討はしていない。隣の座席にまで影響するような大きな荷物などは難しいが、常識の範囲内での持ち込みは可能である。なお、当面はコロナ対策で間隔を空けて乗車いただくため、乗車定員を制限する予定である。
51	7/16交流文化館浅科		市内循環バスは9月末廃止とのことだが、北斗の拳ラッピングバスはどうなるのか。	関係者の中で検討しているが、すぐに廃車ということではなく有効な使い道を検討しているところである。
52	7/19野沢会館		使用する車両は、事業者所有、市の所有どちらなのか。	トヨタユークグループとの包括連携協定の中で、市から長野トヨタを介してのリース契約を予定している。
53			事故の保険は会員登録時に加入してくれるのか。	事故等に対する保険としては、車両に対して加入する任意保険で対応する。
54	7/22佐久市役所		「利用者が集中する場合にはご利用できないことがある」と表記されているが、他市では予備車両を用意しているという話を聞く。佐久市でもそういうことは検討しないのか。	現時点では、予備車の配置は予定していない。令和4年4月以降、各車両の運行範囲の見直しにより、同じエリアで予約が集中しても、他エリアの車両でカバーするような運行ができないかと考えている。
55			車両をハイエースとノアにした理由はなぜか。	タクシー車両の運行では全員乗車できずに増便しているエリアもある。その課題を解決するため、乗車定員の多いハイエースとした。なお、乗車人数が少ないことが見込まれる一部地域はノアとした。
56			ノアはコロナ対策として間隔を空けるためにシートを外すと聞いたが、必要ないのではないか。	コロナ対策でシートを外すわけではなく、高齢者の方などの送迎に特化した車両として、入口を広くしたり、手すりを設けるためにそのような仕様になっている。
57		ハイエースには乗車用ステップがあるがノアにはないため、導入を見直すべきではないか。	ハイエースは車高が高いことから、乗車用ステップがついている。ノアは低床の設計であるため乗車用ステップがなくても乗降しやすいものとなっている。	
58		車両のラッピングについて、佐久鯉やコスモスなどのイラストにした方がいいと思う。	今回導入する車両については、「デマンド交通さくっと」というマグネットシートをつける予定である。車両の色は白を予定している。	
59	7/12臼田支所	その他	本日の参加者は高齢者の方が少ないが、こういった状況で8月の冊子を配布するということだが、民生児童委員への連絡をしていただくことが必要ではないか。	民生児童委員の方へは8月に民生児童委員協議会の全体会で説明する。 また、個別に要望があれば説明していく予定である。
60			アンケートはいつ実施する予定か。	10月からの運行から1ヶ月程度様子を見て、11月頃の実施を予定している。
61	7/14望月駒の里ふれあいセンター		地域公共交通の協議会に実際の利用者がいないことが気になる。	関係者、有識者、地域を代表する方等のほか、公募委員を募ってご参加いただいている。
62			乗継ぎ場所に椅子などの待合スペースを確保する予定はあるのか。	そのようにしていきたい。

番号	会場	内容	Q（ご質問・ご意見）	A（市回答）
63	7/16交流文化館浅科	その他	中仙道線は自主運行撤退とのことだが、現在の中仙道線のみで使用している停留所は今後も利用できるのか。	中仙道線は、今後も平日の朝夕は運行するため、変わらずに利用できる。中仙道線上の一部の停留所についてはデマンド交通の停留所としても利用できるようにすることを予定している。
64	7/19野沢会館		資料だと半年後にまた見直しが出てくるようになっているが、また説明会をやるということか。	来年の2月頃に再度説明会の開催を予定している。
65			コールセンターは、市と直結した組織なのか。独自の専門の組織になるのか。	専門の業者をお願いする予定である。
66			デマンド交通を通学に利用する生徒はいないか。いるのであれば午前8時では間に合わないのではないか。	実績としてデマンド交通を通学に利用する学生がいなかったことから、学生の利用は想定していない。
67			デマンド交通の事業を計画したり実施することにあたっては、運行事業者のためではなく、利用者のためとなるものを考えていただきたい。	今後も利用者の皆さんの声を聞きながら、より良いものにしていきたい。
68			7/21中込会館	今回の見直しに関しては、どこかの自治体をモデルとしているのか。それとも先進的な取組みなのか。
69	7/22佐久市役所		お年寄りがわかりやすいような資料を用意するなど、周知方法を検討して欲しい。	今回の説明会は、全地域の方に向けて説明としているため、概要をご説明したが、地域の集まり等に対する説明であれば、より具体的なご説明ができる。みなさんが集まるような機会にお声掛けいただければ、より具体的に説明をさせていただきたい。
70	7/26佐久平交流センター		現在、子供たちが多く利用する山手線はどのようなになるのか。	山手線は現状通りの運行である。